

## 平成29年度第1回一年生クラス代表懇談会・事前アンケート集計

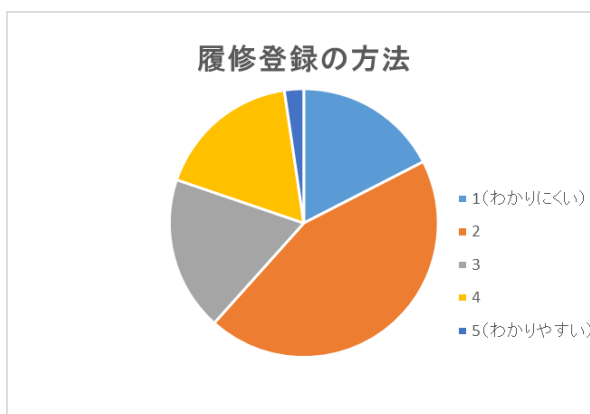
※自由記述の回答は、今回の資料として一部を抜粋したものです。

いただいた意見の全体については、今後、整理・分析を行います。

1-1 今年度の履修登録の方法や時期に関して、以下の項目を5段階で評価してください。（必須）

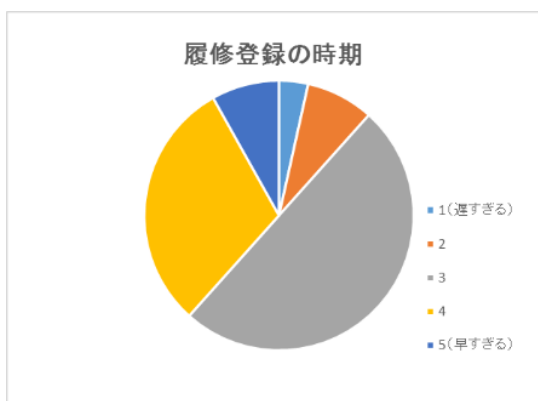
### ■履修登録の方法

1(わかりにくい)	15
2	38
3	16
4	15
5(わかりやすい)	2



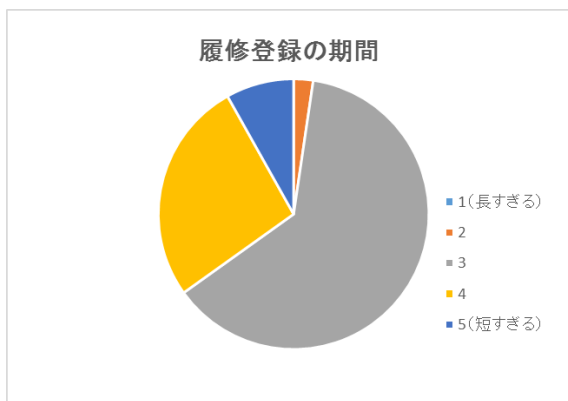
### ■履修登録の時期

1(遅すぎる)	3
2	7
3	43
4	26
5(早すぎる)	7



### ■履修登録の期間

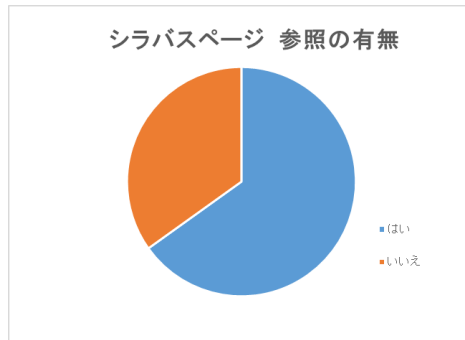
1(長すぎる)	0
2	2
3	54
4	23
5(短すぎる)	7



1-2 履修登録の際、以下のウェブサイト・冊子の利用について

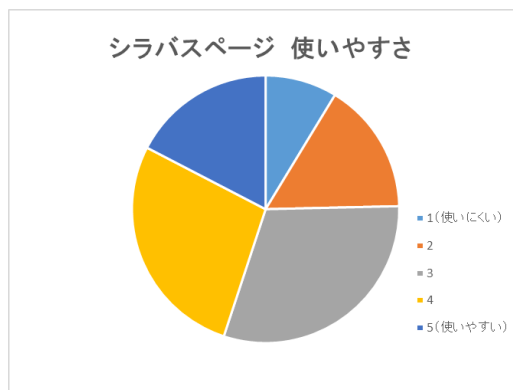
■シラバスページ 参照の有無

はい	56
いいえ	30



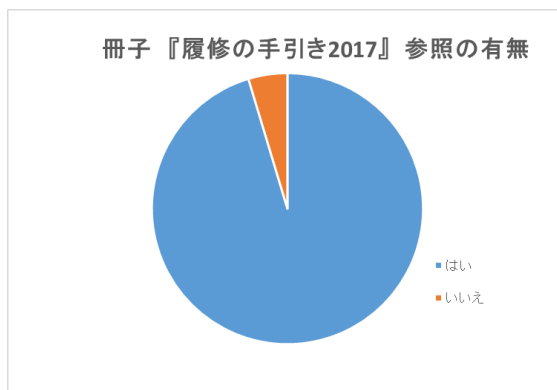
■シラバスページ 使いやすさ

1(使いにくい)	6
2	11
3	21
4	19
5(使いやすい)	12



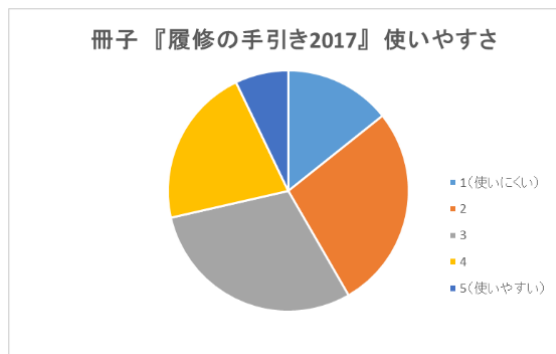
■冊子 『履修の手引き2017』 参照の有無

はい	82
いいえ	4



■冊子 『履修の手引き2017』 使いやすさ

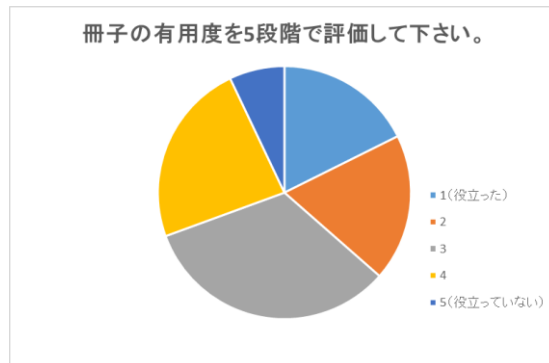
1(使いにくい)	12
2	23
3	25
4	18
5(使いやすい)	6



1-3 『阪大生のためのアカデミック・ライティング入門』（第3版）の利用について

■ 冊子の有用度

1(役立った)	15
2	16
3	28
4	20
5(役立っていない)	6



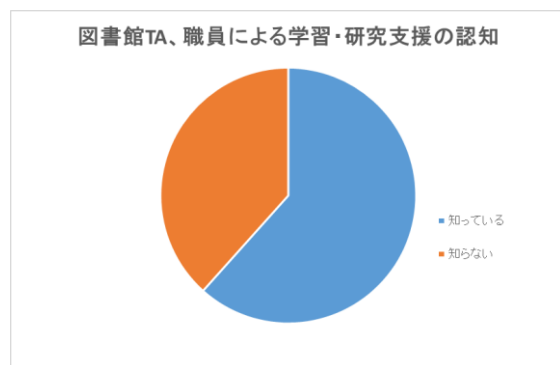
冊子の内容について役立った点や改善して欲しい点

- ・ 引用について、もっとたくさん例を示してほしいです。
- ・ レポート作成例の骨格だけでもあれば良かった。
- ・ 入学したばかりでレポートの知識が全くなかったため、この冊子のおかげでレポートに対する不安をなくすことができました。すごくありがたい冊子でした。
- ・ レポート例を載せてほしかった。注意書きにもあったように、模倣してほしくないから例を載せないと言われていたが、学ぶことはまねぶことから始まると思う。もちろんずっとまねをするわけではなく、レポートの形式を掴んできたなら、皆自分なりのものにすると思う。

1-4 豊中キャンパスで行われている学生支援について、その認知の有無や要望など

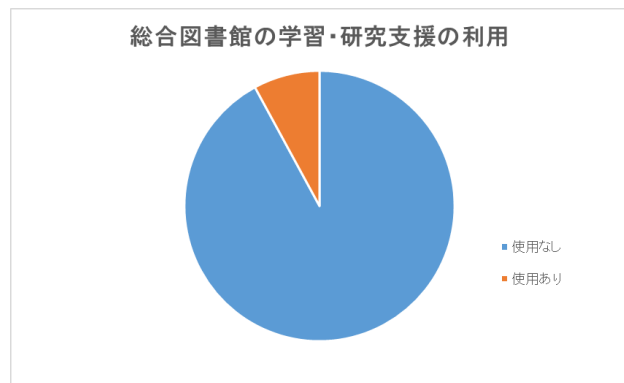
■ 図書館TA、職員による学習・研究支援の認知

知っている	53
知らない	33



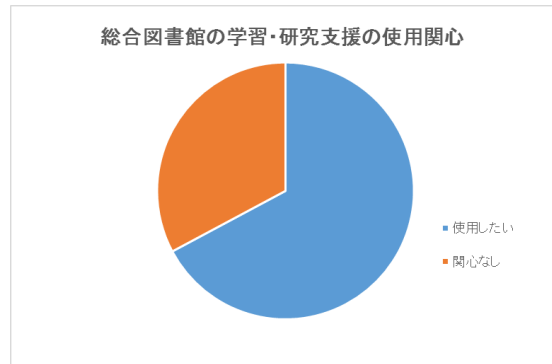
■ 図書館TA、職員による学習・研究支援の利用

使用なし	58
使用あり	5



■総合図書館の学習・研究支援の使用関心

使用したい	43
関心なし	21

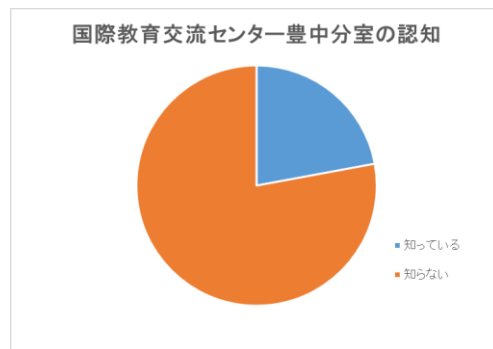


要望など

- ・ 5限以降の放課後も利用できるとありがたい。空きコマが少ないと利用しにくいです。
- ・ 使いたいとは思っているが、質問できる時間が授業の時間と重なっているため使えない。
- ・ もう少し色々なところにポスターなどの案内があるといいな、と思います。
- ・ どうしても浮きがちになるので、より相談しやすい雰囲気づくりをしてほしい。

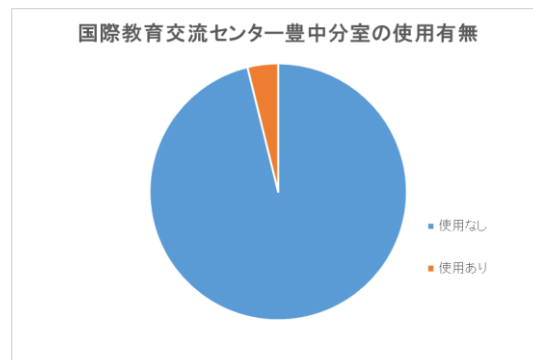
■国際教育交流センター豊中分室の認知

知っている	19
知らない	67



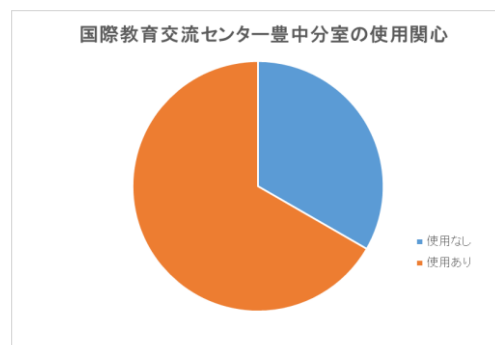
■国際教育交流センター豊中分室の使用有無

使用なし	25
使用あり	1



■国際教育交流センター豊中分室の使用関心

使用なし	11
使用あり	22

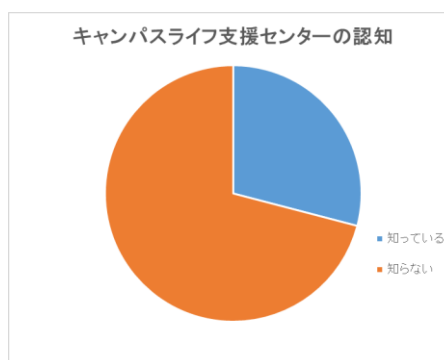


#### 要望など

- ・ 留学相談をしたいのですが予約が 2 ヶ月くらい先まで埋まっています。なのでもっと留学相談の回数を増やして欲しいです。
- ・ 私が知らなかっただけかもしれませんが、留学生との交流をしたいとおもっている学生は多いと思うので、もっとイベントの宣伝等してほしいです。

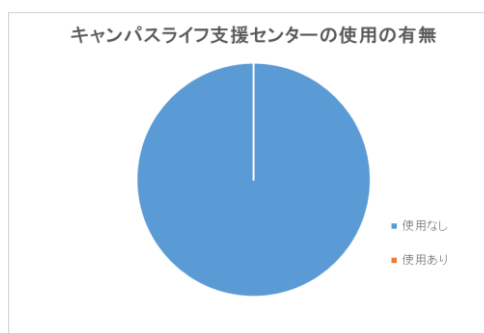
#### ■キャンパスライフ支援センターの認知

知っている	25
知らない	61



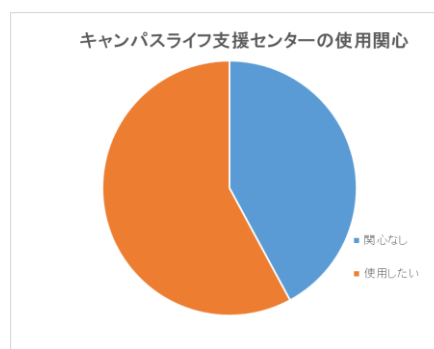
#### ■キャンパスライフ支援センターの使用の有無

使用なし	32
使用あり	0



#### ■キャンパスライフ支援センターの使用関心

関心なし	16
使用したい	22



#### 要望など

- ・ そういう制度があることをもっと発信してほしい。

#### 2-1. 履修登録・新入生向けの情報に関する意見要望

##### ① 履修登録の方法や時期に関して

- ・ 時期に関しては適切かもしれないが、事前情報が少なすぎる。もう少し授業内容の噛み砕いた説明などがあってもいいと思う。それがなければ、時期を遅くしてほしい。また春休みの間に何をすればよいか分からなかった。

- ・ 一般で登録したあとに、集中講義とかを登録しようとしたら、なぜかできなくてその時理由が出てこなかったので困惑した。おそらくその時間割が、事前に登録した一般教養と被っていたのが原因であるが、登録作業時にその理由がすぐに表示されてほしい。全体的に、科目によってこの日から登録できますよってというのがあがるが、それが分かりにくくなったのも間接的な原因であろう。
- ・ もっと早くから自宅のパソコンやスマートフォンで登録できるようにしてほしい。
- ・ 履修の手引だけではわかりにくいので、各学部における1年間の履修登録例を挙げるなど、より詳細な説明をしてほしい。
- ・ 基礎セミナーの希望用紙提出締め切りが、専攻語が発表の時間よりも前だった点は不便です。専攻語によって時間割スケジュールは大きく変わるので、万が一希望の基礎セミナーを受けることができても、必修授業が被って断念しなければならなくなるからです。

② 履修登録について、ウェブサイト・『履修の手引 2017』等でわかりにくかった点、見つからなかった情報について

- ・ ウェブサイトはわかりやすいともわかりにくいとも思わなかったが、手引きはなかなかわかりにくさ。
- ・ ウェブサイトについて、全体的にわかりにくいという声がありました。
- ・ 情報源全体について、基礎セミナーの曜日・時間や開校時期に関する情報を見つけられず受講出来なかった、基礎セミナー自体が説明不十分で理解できなかった、との声がありました。
- ・ シラバスについて、KOANのシラバス検索で出てくる科目の履修対象の欄において、「基工」と書かれると「基礎工学部のみ」か「基礎工学部と工学部の両方」のどちらなのかが初めて見た場合わかりにくいので間にスラッシュを打つなどの対策をしてほしい、シラバスに書いてある内容が授業ごとに差があってもっと具体的に書いて欲しかったとの声がありました。
- ・ そのほかにも、大きな紙の時間割で基礎工の位置にある一般教養も工学部が受けれたりしてややこしいかったので、もうちょい見やすくしてほしいとの声もありました。
- ・ 教職に必須の理学部の専門科目、コア科目をもう少し早く知りたい（教職で必修とされる授業の存在を一斉に履修登録を行う前段階で知りたい）
- ・ 学科内の例年の学生の平均的な単位数やこの時期に取っておいた方がよい選択科目がよくわからなかった
- ・ 『履修の手引 2017』は読んでも情報量が多すぎて結局どうしたらいいのか分からなかった。できるなら学部別の履修アドバイスの冊子があれば、ありがたいと思った。
- ・ 水1の日本国憲法という授業は、教職を履修する人にとっては必修の授業であるが、必要な人が外れて教職の人が取れないという問題があった。また、履修の手引きは新生にとっては本当に見づらく、先輩のサポートなしではまともに授業を組むことができない。

③ 新生が大阪大学での学生生活を始める際に、どのような情報や支援があれば大学生活に慣れるために役立つと思いますか

- ・ シラバスに、もう少し具体的に授業内容を記載してほしい教科があった。授業に入って初めて cle の存在、使い方について知ったので少し混乱した。コピーシステムなど、最初のオリエンテーション段階で一様に伝えるべきだと思う。
- ・ 今後、自分たちの専攻する学問分野を、どういう様に学んでいけばよいか知りたい。(質問をしたいが、授業等の関係で、時間が限られる。これにどう対処したらよいか。)
- ・ 分かりやすいキャンパスマップがほしい。
- ・ 行き場なくて放浪する学生が多数、図書館や、その他落ち着ける場所をアナウンスするのが良いかも

しれない。

- ・ 授業風景の写真や学生生活例や、先輩方や先生方からのメッセージ、アドバイスをまとめて掲載したものを作成すべき。
- ・ 大阪大学では、新入生向けにセミナー等、様々な支援をおこなっていたが、会場が大阪大学だったので、関東などにすんでいた人はその距離ゆえに参加したくても出来なかった。なので、無料なのだから、内容などをビデオや文章にまとめて Web に載せることで、遠くにすんでいる人でも内容が分かるようにしたら良いと思う。
- ・ 地方から出てきて知っている先輩が一人もいないという人もいるので、教科別・講師別のアドバイスをくれる先輩方に相談できる期間があればいいなと思った。そうすることで、仲良くなった先輩の連絡先を教えてもらっておけば、初めての試験対策などにも対応できると思う。
- ・ 先輩たちがどのようなペースで履修していたのか、4年間のモデルプランなどがあればわかりやすいのではないか。4年間を計画的に過ごせるのではないか。

## 2-2. 共通教育の授業・設備への要望

### ① 共通教育の授業（講義、演習実験すべてを含めた内容や方法等）の改善要望について

- ・ 一般教養科目において、1回生が受けれる英語のクラスをもっと増やすべき。もっと多くの分野の英語を1回生が般教で学べるようにすべき。
- ・ 世の趨勢に阿ることなく LGBT 等の内容を取り入れた授業を設け、該当者か否かに関わらず参加できる場があれば良いと思います。
- ・ マイクが機能していない部屋や、パワポが使用不可な部屋があるので設備を改善してほしい。
- ・ CLEやEchoをもっと活用してほしい。スクリーンやテレビ画面が少ないし、見にくいところがある。
- ・ スライドを用いて授業をするもののスライドを CLE にあげない教授がいるのが困る。授業中にスライドの全てをメモできないので、その分野に興味があっても後々勉強できない。
- ・ 最も多かった意見は、パワーポイントを使う授業でテストがある科目はレジュメか CLE に載せてほしい、というものだった。他として、実践英語を選択制にしてほしい（あまりにも先生によって授業の内容や成績のつけ方が違うため）、授業終了時刻を過ぎると移動が難しくなる、生物学入門は高校時生物未選択者が受講するためもっと基礎的なことを教えてほしかった、高校時物理未選択者が受ける物理学入門は単位が取れるため生物学入門も単位が取れるようにして欲しかった、メールだけで教室を変えてその上迷って遅れたら減点するのはやめてほしい、など。
- ・ 英語のリスニングやスピーキングの授業をもっと増やしてほしいという意見が多かった。また英語のできない同期の日本人同士で喋ってもなんの向上にもならないという意見も多々見られた。

### ② 全学教育推進機構の教室や設備の中でのネットワーク環境（無線 LAN や Wifi の接続）について困っていることや要望があれば自由に記述して下さい。

- ・ 全体的に WiFi の接続が弱い。授業内でロイロノートを使うことがあるが、そのさい接続が弱いと出席が取れなかったり、講義のスライドがうまく取り込めなかったりする。受信はなんとかできるが、送信に弱い気がする。
- ・ Wifi が繋がらない教室があり不便なので、全ての教室で繋がるようにしていただきたいです。
- ・ コンセントが少なくパソコンを長時間使えない
- ・ 図書館のデータベースの新聞の同時アクセス数を増やして欲しい
- ・ スマホで CLE が見にくい

2-3 大阪学では、男女共同参画社会の実現に向けた様々な取り組みを行っています。

- ① 現在の大阪大学の女子学生割合は3割ですが、それについてどう思いますか。
- ・ もし難関大に入りたいと思っていたのに、学校の先生や親戚などの過度のプレッシャーから、難関大志望をあきらめてしまったりした子がいたとしたら、それは大問題である。
  - ・ そのような子供を作らないために必要なことは、既存の価値観だけでものを語るのではなく、新しい価値観を持っている生徒がどうすればうまく人生を歩んでいけるかということを試行錯誤できる高校教諭の存在である。まずは高校教諭から育ててみてはどうだろうか？
  - ・ 女性の社会進出を妨げる何かしらの要因があるのだろうと思うが、知識が無いので実態はわからない。
  - ・ 増えた方が多様性が広がると思う。
  - ・ 適正な試験の結果だと思われるので仕方ないと思う、もう少し、大阪大学(特に理系学部)の魅力を受験したいと考えてる女子に伝える何かがあればいいと思う。

② 性別、国籍、障がいや性的指向等に関わらず、多様な構成員が活躍するためにはどういうことをすればいいのか、アイデアがありましたら、自由に書いてください。

- ・ 表示をより丁寧、多言語とする。勾配が激しいところが多いので、もっとなだらかにする。小さい段差をなくす。
- ・ 構内のバリアフリー化、外国語学部生を動員した外国からの留学生向けの案内ボランティアなど。
- ・ 性別や国籍、障がいに関しては既にある程度考慮されているが、性的指向は世間的に注目度が高いにも関わらず大学ではあまり重視されていないように思われます。
- ・ どうしてもそうになってしまうのは理解できるが、受け身の授業が多い。数学などは演習のときに周りの人と協力するなどというグループ活動をもっと取り入れてコミュニケーション能力の向上に繋がれば良いと思う。そうすることでたとえ国籍が違えど授業で培ったものを活かして多様な構成員が団結することができると思います。
- ・ やはりまだ同性間の恋愛について、批判的な意見をもつ大人が多いように思われる(授業で先生が同性愛を否定的に考えていることがわかる発言もみられた)。若者の間では同性愛やトランスジェンダーの人が身近に増えてきたので、あまり抵抗はないようにも感じられるが、大人が否定的であることが分かるとあまりいい気はしない。今の時代の急速な流れに乗り、自分の視野を広げていく意識をより強く持つことが重要である。
- ・ LGBTなどに関することも話題にはなっているものの、知識が不足していると感じることがあったので、実際にそのような立場にある方のお話を聞く機会を設けると良い。
- ・ 希望者のみのフリーディスカッションスペースを作る(いろいろな学部が集まるだろうしミュルチラングと違って言語の壁もない)、留学制度に取り組む、交流できる場と活躍できる場を増やす

2-4 その他、要望・意見があれば自由に意見を記述して下さい。

- ・ 石橋駅から阪大坂を上りきるまでの阪大生が、完全に幼稚園児と化している。改札手前や出たところすぐで立ち止まる、道路にはみ出して歩く、おともだちとナカヨク横に広がって歩く、平気で突き飛ばす、踏切が鳴っても信号が赤でも背後に車が迫っていても、平気でゆっくり歩く、阪大坂を自転車で行く。正直言って世間に恥しか晒していないので、改善が必要。
- ・ 先生方の専門分野を押し付けるような講義であったり、先生自身の自己満足のような講義ではなく、学生自身が自ら問題を見つけ考え解決するような講義を増やし、学科の専門分野だけでなく社会人として社会に出た時に役に立つような思考の形成を促すようにしてほしい



- もっと早くクラス懇談会を開いて欲しい
- 1年次は工学部をひとまとめにしてはどうか。現時点で電子情報や、応用理工には、女子が少ないが、それは、それらの学科がイメージがわきにくいからというのが強い気がする。現実問題、現役生や1浪生で確固たる意思を持って学科を選んでいるとは言えない人は沢山いるだろう。少し前まで高校生だった人達だ。大学という高校よりも専門的な知識が学べる場で、それぞれの分野のガイダンス的なことをすることでイメージがわけば、電子情報や、応用理工のような分野に興味を持つ女子が増えるかもしれない。